

2022(令和4)年度 第4回あすなろ会幹事会会議議事録

開催日時：2022年9月16日(金) 10:00~12:00 東地区文化センター 学習室

出席者：〈幹事〉伊藤,佐々木邦(代) 土門(代) 藤原,中川(眞),塚脇,山口,城森,渡邊,佐野(隆) 大塚,山田〈役員〉進藤,大村,斎藤(東),成嶋,須藤、〈委員会〉鈴木(英) 門田〈事務局〉小山 〈館〉岡田、榎本 出席22名(幹事12名(幹事会成立)、役員5名、委員会2名、事務局1名、館2名)
 〈記録小山〉 〈敬称略〉 (代)代理出席

資料	第4回幹事会会議レジメ・資料② 第3回幹事会会議議事録・資料③ 第8回事務局会議議事録 ・資料④ 生涯学習課長との面談内容 ・資料⑤⑥⑦ 自立要請への回答と新たな協働体制 ・資料⑧ 事務局・幹事会会議議事録配布の流れ・資料⑨ あすなろ会費徴収のお願い			
項目	No	内 容	決定	担当・発言者
確認 挨拶		出席・配布資料確認 30日の班活動もこのままでいけば再開されそうですが、30日以降の講座については、9月20日までに決定して、館長と会長名で通知します。班長さんには、面倒をおかけしますが宜しくお願いします。		齋藤 進藤
報告	1 2	第3回あすなろ会幹事会会議議事録 加除修正なし 第8回事務局会議 加除修正なし 質問：資料③の事務局会・幹事会会議議事録の流れは決まったという事で配布するのか？ 回答：決まっていない。事務局会議で了承という形になっており今日の幹事会で説明して決定権は幹事会にあるのでそれでやりたい。 質問：館の負担軽減方法を決めれば良いという質問に対し13か15日協議するとあるが協議しているのか？ 回答：13日は協議15日方向性が見えたので中止。今日口頭で報告する。	了承 了承	齋藤 斎藤 渡邊 斎藤 藤原 斎藤
議題	1	生涯学習課長との面談内容 資料④ 説明 Ⅰ 関係の法令準拠…… 現在未回答 Ⅱ 生涯学習プランとの関係……プランは目標であり、現実差を理解してほしい。人の補充は無理だが応相談 Ⅲ 自立とは……一般サークルと同じように自立してほしい。これまでの経緯もあるので、館と十分協議が必要である。 質問：館の見解で自立の関係が、よく解からない。館と課長の意見が相違している。 回答：市は、教育のある期間を与えるから自立してほしい。館とあすなろ会で話し合ってください。と言っている。		大村 塚脇 大村
議題	2	資料⑤ 説明 9月13日館との協議時に、第2次提案に資料⑦を足して提出した。 資料⑦ 説明 『館提案協議2021年度まとめ』からの変更(資料⑥図解1,2付)を掲げている。 館と協議した結果、館の了解を得た。前提として榎本指導員の負担を軽減してほしい。今後第2次提案でやっていきたい。承認されれば30日の班活動で説明したい。 意見：今までと何が違うのか。 回答：あすなろ会は単なる生徒会ではなく、社会教育関係団体として大学の運営により大きな責任を持って取り組んでいくことと、館の負担を軽減することが相違点になる。 意見：一般サークルと同様の自立は難しいとあるが、クラブ単体は自立している。この提案の中でクラブ活動をどういう位置づけにするのか検討してもらいたい。講座、行事、センターの役割を進めていく中で持続可能な仕組みになっていない。可能になりうるか検討して頂きたい。 卒業制度をなくして、大学は耐えられるのか？講座の中だけでプログラム作成は危険。クラブ活動をどのような形にしていくか何の議論もしていない。センター事業の一部ではおかしい。これからの疑問をみていただきたい。 説明：クラブ活動については、調べ学習の延長でなったものもあり、どう解釈していくか、会での位置付け等、統一見解がない。調整が必要		進藤 進藤 塚脇 進藤 渡邊 進藤

		<p>説明：あすなろ大学の持続可能、未来永劫を維持していくには卒業制度が必要と判断した経緯について話したい。 あすなろ大学の在り方で、植松館長が公運審の中で話しましょうという事だったが、当時の浅野課長が議題を見送りにしてほしいと生涯学習課の預かりになった。 その後公運審の立場から、この問題をどう考えているか、センターの運営では難しいならば、大学を本庁で引き受けられないか3代の課長の考えを聞いてきたが、その回答は一致していて、大学のような出口の無い定員制は問題。そのような仕組みがある限り本庁で引き受けるの議題にはならない。センターで仕組みの問題をどう解決するか、案を作り2~3年稼働後、問題が無ければ本庁で管轄するか、どうかの。議論のまな板にのるのは、そのあと、とのこと。 3人の課長は、卒業をを設けてセンターの負担を軽くし、卒業した人で学びを続けたい人があすなろ会に入り、学びを続ける活動することを望んでいる。それが卒業制度を設けた背景である。</p> <p>意見：現在、あすなろ会をみても、事務局員や班長になり手がいない、班活動でも出席しない人が多いのが問題で、人数が多いだけで、何もしないあすなろ生の見直しが必要ではないのか。</p> <p>回答：受け身でなく、自分から参加することが大事。そのような形にしていきたい。</p> <p>自立要請への回答と新たな協働体制（第2次提案）承認の可否 賛成10名・保留2名</p>	佐々木邦彦
議題	3	<p>事務局・幹事会会議議事録配布の流れ 資料③ 説明 質問：議事録をただ回しても混乱するだけ班活動で要約して話すのは？ 回答：それは当然です。組織としてやらなければいけない。議事録を回すだけでいいのとは別。議事録をこう回しますがいいですかの話 質問：班内で意見が出た場合回答が出るのが2ヶ月位先遅くならないか 回答：今日参加の方に見て頂き意見を伺い加除修正を集め、参加者が良いということであれば、議事録として流すという意味。 質問：加除修正の連絡が班長に届き問題無し。配布可の連絡は来るのか 回答：幹事会関係者には返信期限を明記。期限すぎたら意見無しとする 確認：例えば今日の議事録作成者は議事録を事務局長に送信、出席者全員に加除修正期限明記の上送信。発言内容と違っていた文言があった場合、加除修正した議事録を再送信する。班長さんは班員に流す。 2~3週間後に幹事会があり、そこでもう1度正式な承認をとる 質問：2回もするのか？承認がどこまで出来ているか明確でないから、そういう話になる。最初の送信に「仮」「案」等つけばよい。 質問：決定権の有る幹事会には、通さなくても良いということですか？ 回答：そう 質問：資料③の黄色の部分で修正があれば、修正して班長に送る。 質問：最初に配る議事録に「仮」とか入れてください。 意見：案では、最終的に幹事会で承認という形になるがこの場合承認をもらったら印をつけてという考え方。 質問：配信してよいか、どうかの判断ができる状態で送ってほしい。 回答：議事録の流れについては、修正があるので今回は修正する。 意見：議事録だけでいいのか、議事録を皆さんに届けるといった意味でこういった手順でやっていきたい。HPもメールやっている人しか見れないのは完全ではない。見れる機会を増やしていきたい。 HPもまだ載せていない。載せられるように改善していく。 議事録の流れについては再提案という事で考えたい。</p>	承認 齋藤渡邊 佐野孝光 山田成嶋成嶋 齋藤山口 齋藤山口 進藤山田 進藤 伊藤進藤 進藤
連絡事項	1	<p>専門委員会 ・まとめ誌編集委員会 訂正 あすなろの仲間たち3班増森戴子電話番号080-1124-5268 30日、班活動日に「仲間たち」を配布予定。未受領者50名</p> <p>・クラブ代表者連絡会 代表者会議を9月21日行うので、宜しくお願いします。</p> <p>・ホームページ委員会 幹事会の議事録を載せるよう努力している。 質問：今日の議事録は流されるのか？ 回答：出来れば流せるようにしたい。</p>	保留 鈴木（英） 門田 中川（眞）

2 3	<ul style="list-style-type: none"> ・研修親睦ツアー委員会 3年生に声を掛けたら、近いうちに集まる予定。 館連絡事項 文化祭開催予定しているが、あすなろ会からのボランティア協力者が少なく困っている。 その他連絡事項 <ul style="list-style-type: none"> ・あすなろ会会費の徴収状況 資料⑨ 未徴収13名。講座や班活動で班長さんから働きかけてください。 休会も徴収対象です。 ・健康生活講座 11月11日の運動会参加希望は9月30日まで。審判を会でまかなうので、お手伝いを頂く。 		進藤 榎本 須藤 大村
次回幹事会 2022年10月28日(金) : 10:00~12:00 学習室予定			